

# 古文ドリル：「なり・たり」の識別（形容動詞）100問

対象：高校生・大学受験生（共通テスト～難関私大・国公立二次まで） 著作権：個別指導塾フィット / 中本裕太

## はじめに：「なり」「たり」6つの正体

「なり」「たり」は、形容動詞の活用語尾にも、助動詞にもなります。直前の語の形で見分けます。

種類	直前の形	例
① 形容動詞ナリ活用	和語の状態語幹＋なり・なる・に	静かなり
② 形容動詞タリ活用	漢語の語幹＋たり・たる	堂々たり
③ 断定の助動詞「なり」	体言・連体形＋なり（～である）	夢なり
④ 伝聞推定の助動詞「なり」	終止形（ラ変は連体形）＋なり（～らしい・～という）	鳴くなり
⑤ 完了・存続の助動詞「たり」	連用形＋たり（～た・～ている）	立ちたり
⑥ 断定の助動詞「たり」	体言＋たり（～である／漢文訓読調）	大将たり

### 識別の鉄則

- 「なり」の直前 → 和語の状態語幹＝形容動詞、体言・連体形＝断定、終止形＝伝聞推定。
- 「たり」の直前 → 漢語の状態語幹＝形容動詞、連用形＝完了・存続、体言＝断定。
- 「に」も形容動詞ナリ活用の連用形（静かに）。格助詞「に」と混同しない。

## 🎯 解き方のコツ（試験本番で3秒）

### コツ① 「なり」は直前の品詞で3択

- 静か・あはれなど状態語幹＋なり → 形容動詞ナリ活用。
- 体言・連体形＋なり → 断定（～である）。
- 終止形＋なり → 伝聞推定（音・うわさ。「鳴くなり＝鳴いているようだ」）。

### コツ② 「たり」も直前で3択

- 漢語（堂々・粛々）＋たり → 形容動詞タリ活用。
- 連用形＋たり → 完了・存続（～た・～ている）。
- 体言＋たり → 断定（～である）。

### コツ③ ラ変だけ例外

- ・ 伝聞推定「なり」は終止形接続だが、**ラ変型には連体形**に付く（「あるなり」「ざるなり」）。

### よくある引っかけ

- ・ 「静かに」の「に」を格助詞と誤る（形容動詞連用形）。
- ・ 「鳴くなり（伝聞推定）」と「鳴く（断定）」の混同 → 直前が終止形か連体形か。
- ・ 漢語+たりは形容動詞、連用形+たりは完了。直前を必ず確認。

## 採点表

各セクションごとに自己採点し、最後に合計を記録してください。

- ・ 基礎（Q1～Q20）： /20
- ・ 標準（Q21～Q50）： /30
- ・ 応用（Q51～Q80）： /30
- ・ 入試レベル（Q81～Q100）： /20
- ・ 合計： /100

## 【第1部】基礎編（Q1～Q20）

6種類を代表的な形で純粹に識別する基本問題。

Q1. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

山里は静か**なり**。

Q2. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

これは夢**なり**。

Q3. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

鳥の鳴く**なり**。

Q4. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

軍勢堂々たり。

Q5. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

門に人立ちたり。

Q6. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

その人、大将たり。

Q7. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

庭はのどかなる夕べなり。

Q8. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

かの人は法師なり。

Q9. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

笛の音すなり。

Q10. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

花咲きたり。

Q11. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

月清らかに照る。

Q12. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

海原漫々たり。

Q13. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

これなむ都なる。

Q14. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

風吹くなり。

Q15. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

文を書きたる人。

Q16. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

あはれなりける事かな。

Q17. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

我は武士たり。

Q18. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

軒に蜘蛛の巣かかり**たり**。

Q19. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

あなたに人のある**なり**。

Q20. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

滝の水、凜々**たる**音す。

## 【第2部】標準編 (Q21～Q50)

連体形接続の断定「なり」、終止形接続の伝聞推定「なり」を中心に確認する。

Q21. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

雪はなはだ白し、いと清げ**なり**。

Q22. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

この所は昔の都**なり**。

Q23. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

谷の方にて水の音**すなり**。

Q24. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

軍勢肅々たり。

Q25. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

道に人倒れたり。

Q26. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

彼は一国の主たり。

Q27. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

姫君いとあてやかなり。

Q28. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

これは亡き人の形見なり。

Q29. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

鐘鳴るなり。

Q30. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

紅葉散り敷きたり。

Q31. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

池の面、平らにして波もなし。

Q32. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

その国の守たる人。

Q33. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

山のあなたに鹿鳴くなり。

Q34. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

庭に雪積もりたり。

Q35. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

御簾の内、はなやかなる気配す。

Q36. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

これは古き歌なり。

Q37. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

波の音聞こゆなり。

Q38. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

雲海茫々たり。

Q39. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

灯ともしたり。

Q40. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

心ばへいとなだらかなり。

Q41. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

ここは海道なり。

Q42. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

虫の声しめやかにして、いとあはれなり。

Q43. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

男もすなる日記といふものを、女もしてみむとてするなり。

Q44. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

遠くにて人騒ぐなり。

Q45. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

城門に兵満ち**たり**。

Q46. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

その振る舞ひ、王者**たり**。

Q47. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

水草おぼろ**なる**月夜かな。

Q48. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

雨降る**なり**、出で立ちがたし。

Q49. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

旗、林立**したり**。

Q50. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

その声、清音凛**たり**。

## 【第3部】 応用編 (Q51～Q80)

「なり」の3択・「たり」の3択を、紛らわしい文脈で見分ける。

Q51. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

心のうち、いとのだやか**なり**。

Q52. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

ここは亡き宮の御所**なり**。

Q53. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

谷の方にて人の語らふ**なり**。

Q54. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

大河洋々**たり**。

Q55. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

道のべに清水流**れたり**。

Q56. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

かれは一門の棟梁**たり**。

Q57. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

御心地い**つれづれなり**。

Q58. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

あの山のあなたに住む**なり**。

Q59. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

御階の前に梅咲き**たり**。

Q60. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

容貌、端正**なり**。

Q61. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

これぞ名高き滝**なる**。

Q62. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

庭の松に鶴み**たり**。

Q63. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

軍兵雲霞のごとく充満**たり**。

Q64. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

たれそかれと問ふ**なり**。

Q65. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

御けはひ、いとしのびやかなり。

Q66. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

これは三位の中将殿なり。

Q67. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

海人の小舟漕ぎ出でたり。

Q68. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

その身、出家の沙門たり。

Q69. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

御殿のうち、しめやかなり。

Q70. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

軒のあたりに人の音すなり。

Q71. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

床に書きもの広げたり。

Q72. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

旗の文字、明々**たり**。

Q73. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

これは仮の宿**なり**。

Q74. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

笛をいとめでたく吹く**なり**。

Q75. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

御前に人々候ひ**たり**。

Q76. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

谷風**すずやかに**吹く。

Q77. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

彼は当家の家長**たり**。

Q78. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

鶯の**声すなり**。

Q79. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

池に蓮の花咲き満ち**たり**。

Q80. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

山容雄大**なり**。

## 【第4部】 入試レベル (Q81~Q100)

文脈の長い例文で、6種類を総合的に判断する。

Q81. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

夜もすがら、虫の音のみして、いとあはれ**なり**。

Q82. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

このわたりにはべりし、按察使大納言の御むすめ**なり**し。

Q83. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

夜更けて、遠き寺の鐘つ**くなり**。

Q84. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

千騎万騎、野山に充満し、その勢ひ堂々**たり**。

Q85. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

御帳のうちに、人臥したり。

Q86. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

かの清盛公、太政大臣たり。

Q87. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

月いと明かく、空のけしき気高く清げなるに。

Q88. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

その家は、もと大臣の住み給ひし所なり。

Q89. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

隣の家にて、人の泣くなり。

Q90. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

軒端の梅、いつしか咲き乱れたり。

Q91. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

その挙措、まことに優雅なり。

Q92. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

これなむ、名にし負ふ逢坂の関**なる**。

Q93. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

沖の方に、舟漕ぐ**なり**。

Q94. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

城のうちに、軍兵雲のごとく満ち**たり**。

Q95. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

その者、当時の関白**たり**し人なり。

Q96. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

池水鏡のごとくに静か**なり**。

Q97. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

あの僧は、高名の学僧**なり**。

Q98. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

風に乗りて、楽の音聞こゆ**なり**。

Q99. 次の傍線部「なり／たり」を識別せよ。

文机に、書きさしの文置きたり。

## 採点振り返り

- 「なり」を間違えた問題：直前が和語の状態語幹＝形容動詞、体言・連体形＝断定、終止形＝伝聞推定。
- 「たり」を間違えた問題：直前が漢語の状態語幹＝形容動詞、連用形＝完了・存続、体言＝断定。
- 連用形「に」：「静かに」の「に」は形容動詞ナリ活用の連用形（格助詞ではない）。
- 間違えた問題は、「なり・たり」の直前一語の品詞に印をつけて解き直すと定着します。